

農委会を活発に 常任 会議員

らと初懇談

きょうと女性 農業委員の会

8月19日、京都市内で、「きょうと女性農業委員の会」が研修交流会を開いた。今回、初めて農委会会長を招き、「農委会活動、一歩前に」と題して話し合った。



交流会では、「農業委員会での女性の役割」などをテーマに意見を出し合った。京田辺市の林善嗣会長からは、「儲かる農業には、これから加工が大切

加工は、女性がよく活動しているの、いいアイデアを出してもらい特産化づくりを」と。また、綾部市の大島幸雄会長は、「農業委員会をPRするのに、委員会の名前入りジャンパーを作つては、という提案があつたが、いい発想でよかつた」との意見が出された。また、女性委員からは、「農業委員になろうという気概のある人材を育てる必要がある」「女性のいない委員会では、登

来年、全国組織の設立へGO!

全国農業会議所は、来年3月を目途に、「全国女性農業委員の会」(仮称)の設立準備を進めている。これは、女性農業委員の組織が全国31府県で組織され、活発に活動を行っていることを受けて、全国組織を立ち上げようとするもの。

現在、設立に向けて、全国各ブロックから準備委員が選ばれ検討が始められている。近畿ブロックからは、京都府と滋賀県が準備委員を担っており、宮津市農業委員会の小長谷道子委員が調整役となっている。全国組織では、農業委員会活動の活性化や、女性委員登用の働きかけ、研修会などへの講師の派遣、各府県の組織の交流を予定している。

★各市町村の女性委員の状況

- 京都市4人、長岡京市2人、宇治市1人、城陽市2人、久御山町1人、京田辺市2人、木津川市2人、和東町3人、精華町2人、南山城村2人、亀岡市3人、南丹市1人、京丹波町3人、綾部市3人、舞鶴市1人、官津市2人、伊根町1人、京丹後市2人。
- 合計、18市町村37人。

《22年度後半の活動》
女性農業委員の会
ブロック別交流会
11月17～30日
総会・研修交流会
2月17日

用について、どんな協議がされているのか知りたいたい」などの意見が出た。このほか、農業委員会活動を活発にするため、農地・農政活動に女性が積極的に参画していくことなども話し合われた。